

教科用図書第3採択地区調査委員会
(音 楽) 小委員会委員長



調査研究	1 審議の対象となった発行者名及び数 ・教育芸術社、教育出版の２者 2 調査研究の手順 ・第１回調査委員会（７月５日）で２者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第２回調査委員会（８月３日、４日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し様式１について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式２～６を作成した。 ・ 3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容、内容の構成、排列については、どの子どもにも学びやすい工夫がされているかという視点で調査し整理した。 使用上の配慮等については、学習意欲を高める工夫がされているか、また、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか、目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか、という視点で調査し整理した。
審議の経過	
全体を通じての特徴	1 教育芸術社については、マークを見ることで「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が明確になっていること、楽器との出会いが大切なものになるよう導入ページを設置するなど、楽器の取り上げ方を工夫しているという特色があり、優れている。教育出版については、折込を使ったワイドな紙面で題材のイメージがしやすいこと、音楽づくりの活動で子どもが創造性を発揮できるように文字やイラスト、活動例を適切に示しているという特色があり、優れている。 2 このほか、教育芸術社と教育出版については、二次元コードを活用し動画やデジタルコンテンツを表示することで、個別最適な学びにつながる工夫がされていること、歌詞の内容や音楽を通して他者とつながる例を取りあげるなど、SDGsにつながるよう配慮がされているなどの話題も出されていた。

音楽の目標について	
【教科の目標】 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。	
【学年・領域等の目標など】 [第 1 学年及び第 2 学年] (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 [第 3 学年及び第 4 学年] (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 [第 5 学年及び第 6 学年] (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、児童が「音楽的な見方・考え方」を働かせて、学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、児童が教科としての音楽を学ぶ意味を明確にした。

○ 標準授業時数

第 1 学年－68 単位時間	第 2 学年－ 70 単位時間	第 3 学年－60 単位時間
第 4 学年－60 単位時間	第 5 学年－ 50 単位時間	第 6 学年－50 単位時間

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽・103 音楽・203 音楽・303 音楽・403 音楽・503 音楽・603	小学音楽 おんがくのおくりもの1 小学音楽 音楽のおくりもの2 小学音楽 音楽のおくりもの3 小学音楽 音楽のおくりもの4 小学音楽 音楽のおくりもの5 小学音楽 音楽のおくりもの6
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・	○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 音楽に合わせて体を動かしたり、声の感じや強さをかえたりして歌う活動 第3,4学年～ 曲に合った歌い方を見つけたり、響きを大切にしながら歌い方を工夫したりして歌う活動 第5,6学年～ 表現を工夫して聴き合いながら歌い合わせたり、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫したりして歌う活動 ○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 一つの楽器からいろいろな音を出したり、楽器を選んで歌に合わせてたりして演奏する活動 第3,4学年～ リコーダーの音でまねっこ遊びをしたり、パートの役割を生かしたりして演奏する活動 第5,6学年～ パートの役割や曲の特徴を生かしたり、旋律や響きの変化を捉えたりして演奏する活動 ○ 音楽づくりについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ リズムをつくって遊んだり、たいこの音やリズムを声で表したりして音楽をつくる活動 第3,4学年～ 伴奏に合わせて旋律をつくったり、音階の音を選び、友だちと旋律をつなげたりして音楽をつくる活動 第5,6学年～ 和音に合わせて旋律をつくったり、音の重ね方、強弱、速さなどを工夫したりして音楽をつくる活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろな音や旋律の移り変わりに気付いたりして聴く活動 第3,4学年～ 楽器の音色や曲の流れを捉えたり、曲の流れを感じ取り全体を味わったりして聴く活動 第5,6学年～ 曲のおもしろいところを見付けたり、世界のいろいろな声の表現や楽器のひびきに気付いたりして聴く活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 強さや速さを感じ取って聴いたり、音の重なりやリズムを感じて演奏したりする活動 第3,4学年～ 旋律の変化や流れを感じ取って聴いたり、拍の違いを感じて演奏したりする活動 第5,6学年～ 主題の変化や伴奏の動きを感じ取って聴いたり、旋律の動きや重なりを感じて演奏したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活			

排 列	動が取り上げられている。 第1,2学年～ 「どれみとなかよし」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選んだ音に合わせて手の高さを工夫する学習の後に、歌に合わせて体を動かすなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3,4学年～ 「日本と世界の音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おはやしづくりの後に、世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～ 「アンサンブルのみりよく」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、交響曲の鑑賞の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ いろいろな太鼓の音を楽しむ学習の後に、おまつりの音楽をつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第3,4学年～ 音の動き方を生かして旋律をつくる学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第5,6学年～ 日本の民謡を調べる学習の後に、旋律の感じを生かして民謡を歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫
使 用 上 の 配 慮 等	○ 折り込みを使ったワイドな誌面で、歌詞に忠実な写真を掲載したり（第3～6学年）、即興的に表現する活動を取り入れたり（第1,2学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を解説して見通しを持たせたり（全学年）、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、他教科と関連する教材として「ショートタイムラーニング」を掲載したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるようにする（第3～6学年）など、使用上の便宜が図られている。
そ の 他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		27・教芸	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽・104 音楽・204 音楽・304 音楽・404 音楽・504 音楽・604	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排	○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 音楽に合わせて体を動かし声を合わせたり、声の強さに気を付けて呼びかけ合ったりして歌う活動 第3,4学年～ 友だちと声やリズムを合わせたり、声が重なり合う美しさを感じ取ったりして歌う活動 第5,6学年～ 和音のひびきの移り変わりを感じ取ったり、曲想を生かして言葉や旋律のまとまりを大切にしたりして歌う活動 ○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 歌に合わせて楽器でリズムを打ったり、リズムを選んで歌と重ねたりして演奏する活動 第3,4学年～ リコーダーを吹く息の使い方に気を付けたり、パートの役割を生かしたりして演奏する活動 第5,6学年～ いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり、曲の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫したりして演奏する活動 ○ 音楽づくりについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ ことばでリズムをつくったり、リズムの繰り返しを使ったりして音楽をつくる活動 第3,4学年～ 繰り返しや変化を使ってまとまりのあるリズムをつくったり、日本の音階のよさを感じ取ったりして音楽をつくる活動 第5,6学年～ 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり、旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろな楽器の音の中から好きな音を探したりして聴く活動 第3,4学年～ 旋律の音の上がり下がりに気付いたり、音楽が表している様子を思い浮かべたりして聴く活動 第5,6学年～ いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり、世界の様々な楽器の組み合わせから生まれる響きを味わったりして聴く活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 拍に乗ってリズムを感じ取って聴いたり、旋律の繰り返しを感じて演奏したりする活動 第3,4学年～ 旋律の重なりを感じ取って聴いたり、リズム伴奏の面白さを感じて演奏したりする活動 第5,6学年～ 詩と音楽の結びつきを感じ取って聴いたり、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じて演奏したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活				

列	動が取り上げられている。 第1,2学年～ 「はくにとってリズムをうとう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音楽に合わせてリズムを打つ学習の後に、習ったリズムを選んで歌いながら打つなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3,4学年～ 「日本の音楽でつながろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第5,6学年～ 「詩と音楽との関わりを味わおう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本歌曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ いろいろな楽器の音から好きな音を探す学習の後に、音を重ねて音楽づくりをする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習にできる工夫 第3,4学年～ 旋律の特徴を感じ取って聴く学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第5,6学年～ 日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に、日本の民謡を調べる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫
使用上の配慮等	○ 学習をサポートする写真やイラストを掲載したり（第3～6学年）、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に「学習マップ」を掲載し、1年間で学習する内容の見通しを持たせたり（全学年）、巻末に「ふり返りのページ」を掲載し、学習を振り返ることができるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したり（第3～6学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、タブレット端末で学習するコンテンツ（ムーブの部屋）にアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

＜音楽科の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- ① 取り扱われている各領域にかかわるページ数及び総ページ数
- ② 我が国や郷土の音楽を取り扱うページ数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数

◎調査項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、表現（歌唱、器楽、音楽づくり）及び鑑賞にかかわる全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 児童が、我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わえるようにしていくことが求められていることから、我が国や郷土の音楽の取り扱いについて把握する必要があるため。
- ③ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式6にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	教出						教芸					
					1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①	取り扱われている各領域のページ数	A 表現	(1) 歌唱	46	50	52	47	52	47	38	51	37	40	38	39	
			(2) 器楽	14	18	33	18	20	23	29	23	32	24	17	18	
			(3) 音楽づくり	15	14	11	9	6	5	8	8	6	8	6	4	
		B 鑑賞	(1) 鑑賞	14	14	13	19	11	13	19	18	17	17	23	13	
			総ページ数	82	82	86	88	88	88	82	82	86	86	86	86	
			前回の総ページ数	80	80	86	84	86	84	82	82	86	86	86	86	
			増減	3%	3%	0%	5%	2%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
②	我が国や郷土の音楽を取り扱うページ数			17	15	21	32	27	27	17	17	24	26	25	22	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			0	0	0	4	2	0	0	0	0	1	7	2	

様式 6

様式 5 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	学年	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	4	学習マップ（P5）	イラスト	ソーラン節の掛け声
		日本と世界の音楽（P40）	楽譜	ソーラン節（北海道民謡 きたかみじゅん編曲）
		日本と世界の音楽（P41）	イラスト	歌い手とみんな
			鑑賞曲	ソーラン節（北海道民謡）
		音楽ランド（P70）	楽譜・歌詞	札幌の空（題名及び歌詞の内容）
	5	にっぽんのうた みんなのうた（P35）	説明	作詞者三木露風が北海道の修道院で国語を教えていた時期に、まどの外で竿にとまる赤とんぼを見て、なつかしいふるさとやかわいがってくれた人々を思い出しながらつくったことの説明
			写真	「赤とんぼ」の詩がつくられたトラピスト修道院の現在の様子の写真
			地名	北海道北斗市
		日本の民ようをたずねて（P41）	地図	日本地図
			民謡名	ソーラン節、江差追分<北海道>
			地図	日本地図
教 芸	4	チャレンジ ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう（P29）	写真・説明	アイヌ古式舞踊の写真・祭りや行事で行う歌とおどりであることとアイヌの伝統楽器を伴奏に使うことの説明
			写真	アイヌ古式舞踊の写真・祭りや行事で行う歌とおどりであることとアイヌの伝統楽器を伴奏に使うことの説明
	5	オーケストラのひびきに親しみましょう（P26、27）	写真	札幌コンサートホール kitara と地域の高校生とともに「祝典序曲」を演奏する札幌交響楽団の写真
		詩と音楽との関わりを味わおう（P49）	写真	「この道」の歌詞に出てくる時計台の写真
			地名	北海道札幌市
		音楽の特徴を感じ取りながら、日本の民謡をききましょう（P58、59）	イラスト	ニシン漁の様子
			鑑賞曲	ソーラン節（北海道民謡）
			説明	漁師たちが、船にニシンを引き上げるときに歌っていたことや「ヤーレンソーラン」という歌詞は、漁師達を力づけるためにかけた「ヤーレンソラ」というかけ声に変化したものである伝承についての説明
			採譜	ソーラン節の採譜
		日本の民謡めぐり（P61）	地図	日本地図
			写真・説明	「江差追分」の旋律を図形化した楽譜の写真・檜山郡江差町に伝わる民謡であり、長野県から伝わってきた馬子歌が始まりといわれていること、多くの歌い手が工夫を重ねて現在のような形になったことの説明
			地名	江差町
		みんなで楽しく♪「地球へ」（P70）	作詞・作曲者	半崎美子
	6	いろいろな音のひびきを味わおう（P16、17）	写真	札幌交響楽団